


市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。
掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。
◎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

6月1日号への掲載の申込みは、4月20日(水)までに、広報情報課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

| 広報みしま | 締切日 |
|-------|----------|
| 7月1日号 | 5月26日(水) |
| 8月1日号 | 6月22日(水) |
| 9月1日号 | 7月21日(水) |



▲市民活動団体応援コーナー詳細

子育て・教育

CoderDojo 三島・沼津
子どもプログラミング道場 参加者募集
☎5月8日、7月10日、9月11日、11月13日、令和5年1月15日、3月12日(各日曜日) 午後2時～4時 ☎無料 ☎小・中学生 ☎開催場所や応募方法につきましてはホームページにてご案内します ▶ <https://coderdojo-mn.com/> ☎CoderDojo 三島・沼津 ✉kidswsmn@gmail.com

文化

藤間流伊世藤会 日本舞踊公演
☎4月10日(日)午前10時30分～午後7時 場市民文化会館大ホール ☎伊世藤会一門による3年に一度の古典日本舞踊公演をご覧ください ☎無料 ☎満席になり次第 ☎伊世藤会事務局・藤間 ☎975・9779 ✉isefujikai@gmail.com

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

琴城流大正琴
伊豆琴慧会 10周年記念演奏会
☎5月14日(土)正午～午後3時30分 場市民文化会館大ホール ☎第1部「想い出のメロデー」、第2部「大正、昭和、平成、令和の時代へ」 ☎無料 ☎神田 ☎080・2621・4831

スポーツ・健康

子ども陸上練習募集
①ゆめアスリ②三島陸上 ☎①4月から1年間(第2・第4土曜日) ②4月から1年間(毎週土曜日) 場日大御園グラウンドほか ☎①年間1万2,000円 ②年間1万8,000円(2回無料体験あり) ☎①年長～小学3年生 ②小学1～6年生 ☎☎三島市陸上競技会・西尾 ☎947・2838(受付:午後8時～9時)
初心者バドミントン教室 参加者募集
☎5月から1年間(毎週土曜日・全30回) 午後7時～9時 場市民体育館 ☎1万5,000円(初回払い) ☎中学生以上 ☎先着40人 ☎ラケット(貸出あり)、運動靴 ☎4月9日(土)より ▶ <http://mishima-badminton.com/> ☎三島市バドミントン協会・高井 ☎090・7045・3016

三島ソフトテニス協会
春季ソフトテニス教室
☎4月13日～7月6日(毎週水曜日) 午後6時30分～8時30分 場市民体育館文教コート ☎4,000円 ☎小学生以上 ☎30人 ☎ソフトテニスラケット、運動靴 ☎4月13日(日)午後6時よりコート入口で受付 ☎大庭 ☎080・2615・6911

アーチェリー
春季初心者講習会
☎5月15日～6月5日(毎週日曜日) 午前9時30分～正午(全4回) 場市民体育館弓道場 ☎3,000円(保険料含む) ☎中学生以上 ☎先着4人 ☎☎4月11日(月)～30日(土)までにアーチェリー協会・大木 ☎090・2571・9480

その他

静岡県要約筆記者養成講座
(手書き・パソコンコース)
聴覚障害者へのコミュニケーション支援として、その場の話を文字で伝える要約筆記者を養成します。☎5月18日(水)～11月20日(日)(水曜日または日曜日) 午前10時～午後3時(全92時間) 場社会福祉会館4階大会議室、3階第1会議室ほか ☎3,680円(テキスト代) ☎県在住・在勤の18歳以上の人 ☎各コース20人 ☎修了条件:8割以上の出席 ☎☎4月18日(月)までに静岡県聴覚障害者情報センター ☎054・221・1257

「コロナ過を防ぐ方法」講習会
☎4月10日(日)午後1時30分 場生涯学習センター5階第2研修室 ☎8人 ☎☎当日までに浅井 ☎090・1237・0011 ※当日の場合でも、必ず事前に電話での申し込みをお願いします。

夢未来高等学院静岡校 開校
特別な支援が必要な生徒や自閉症スペクトラム、学習障害(LD)、ADHD(注意欠陥多動性障害)などの発達課題のある生徒、ひきこもり・不登校での高等学校卒業が困難な状態にあり、転入・編入を希望する生徒の受け入れも対応を検討できます ☎夢未来高等学院静岡校 ☎991・0807

歴史小箱

No.406

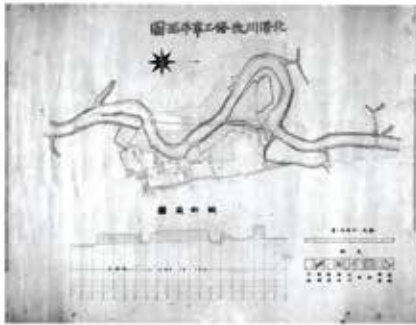
地区の歴史—北沢—

郷土資料館（楽寿園内） ☎ 971・8228

今回は中郷地区に位置する北沢について紹介します。

北沢は、大場川の左岸に位置する地域です。東側は箱根山麓につながり、北には向山古墳群があり、錦田地区に接しています。

『三島市誌』下巻によれば、「北沢」の地名は平安時代中期に編さんされた辞書『和名類聚抄』に記載のある地名「佐婆郷（さばのこう／さわのこう）」に由来するといえます。佐婆郷は現在の三島市大場・多呂・中島・北沢・谷田・竹倉・玉沢および函南町上沢付近と想定されており、佐婆郷の北に位置することから「北沢（北佐婆）」と呼ばれたとされています。天正十八年（一五九〇）に豊臣秀吉が現在の三島市中郷地区および函南町周辺の村々へ宛てた文書では「北沢郷」が宛先のうちに含まれており、江戸時代以前からの呼称であることがわかります。



▲「北沢川改修工事平面図」
(画面右側が北 / 原明博氏蔵)

北沢の人々は、元々大場の赤王神社を信仰していました。のちに北沢村内に分祀しました。これが現在向山小学校の南にある赤王神社です。こちらは「シャコウジンジャ」と呼ばれていますが、これは大場の赤王神社との混同をさけるためだそうです。

前述のようにこの地域は西に大場川が流れています。大場川はかつて大きく蛇行しており、流域は洪水被害が絶えませんでした。大正時代、地域の豪農が私財を投じて北沢集落に接する部分の大場川の河川改修を行いました。蛇行している流れを直線化し、堤防を築くという大事業です。



▲航空写真黄点付近の現在の様子。旧流路にあたる部分が今もくぼみ、通行のために板を渡しています (写真奥が今の大場川)



▲昭和16年撮影の航空写真 (国土地理院提供)
※図面と向きをそろえるため右を北にしています

この工事からあまり年月の経っていない昭和十六年（一九四一）に撮影された航空写真をみると、周辺の土地の区画に蛇行していた大場川の跡を見ることができません。

現在では、その後の河川改修や宅地化の進行などにより、かつての蛇行した大場川をイメージすることも難しくなりました。しかし川のすぐそばには、昔のおもかげが今も残っています。

わたしのおじいちゃん

当番 すずき るなさん

私のおじいちゃんはとっても優しく、すごく面白いです。

一緒にゲームをしたり、唄をうたったり、おやつにメイプルシロップたっぷりの特製パンケーキを焼いてくれたりします。たまに、おじいちゃんは私のために甘口と辛口を分けてカレーを作ってくれます。時々怒られることもあるけれど、すぐにまた優しいおじいちゃんに戻ります。

私は、そんなおじいちゃんが大好きです。ずっと仲良しコンビでいたいんです。だから、おじいちゃんには長生きしてほしいです。

